

WIDEX ALLURE™

取扱説明書

WIDEX ALLURE™ ファミリー

ACRD1 モデル
ITE
(耳あな型補聴器)



WIDEX

SOUND LIKE NO OTHER

お客様の補聴器

(販売店で記入します)

- ベント ベント無し
 取外し用テグス

補聴器のプログラム：

プログラム

ユニバーサル（万能）

PureSound

ミュージック

表に記載されているプログラム名は既定のものです。

本書をお読みください

補聴器のご使用前に、本書の取扱説明をよくお読みください。また、充電器の取扱説明書も必ずお読みください。

音声伝送＆ワイヤレスコントロール

本補聴器は、スマートフォンおよびその他の機器から DEX 経由で音声伝送できるだけでなく、直接ワイヤレスコントロールできます。詳細については、販売店にお問い合わせになるか、ウェブサイトをご覧ください：

www.widex.com。

本補聴器は ALLURE アプリからワイヤレスで操作できます。他社製のアプリで補聴器をご使用になる場合、またはアプリを他の機器でご使用になる場合、当社は一切責任を負いません。アプリの詳細については、本書の該当箇所をご覧ください。

目次

お客様の補聴器.....	7
はじめに.....	7
各部の名称.....	8
使用条件.....	10
ご使用にあたって.....	10
充電池付き補聴器.....	10
意図する目的/意図する使用.....	10
充電.....	11
使用時間と充電時間.....	12
動作と充電の条件.....	13
保管と輸送条件.....	14
使用方法.....	16
補聴器電源のオン/オフ.....	16
補聴器の装着と取り外し.....	17
補聴器の装着.....	17
カスタマイズ.....	19
プログラム.....	19
音とプログラムの調整.....	20
お使いの補聴器とスマートフォンのペアリング.....	21

補聴器とスマートフォンの Bluetooth によるペアリング	21
補聴器へのアプリの接続.....	21
iPhone との音信号の伝送.....	22
Android スマートフォンと補聴器を使用する方法... <td>22</td>	22
iPhone の通話で補聴器を双方向ヘッドセットとして 使用する方法.....	22
Bluetooth 接続を切断する方法.....	24
スマートフォンとの互換性.....	24
お手入れ.....	25
用具.....	25
補聴器のお手入れ方法.....	25
マイクフィルターの交換.....	27
ワックスガード.....	28
アクセサリー.....	31
トラブルシューティング.....	32
安全に関する重要な情報.....	36
規制情報.....	44
EU 指令.....	44
指令 2014/53/EU.....	44
廃棄に関する情報.....	45

FCC/ISED 適合宣言.....	45
記号.....	49
ライセンスと確認書.....	51
オープンソースに関する確認書.....	51
MIT license.....	51

お客様の補聴器

はじめに

新しい補聴器をご購入いただきありがとうございます。

本補聴器は、充電式リチウムイオン電池を使用します。必ず充電器のモデル WPT50x を合わせてお使いください。

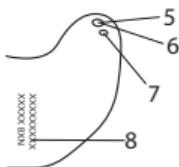
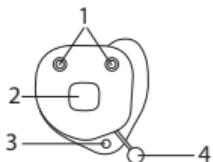
充電池は内蔵されており、交換できません。

慣れるまでに少し時間がかかるかもしれません、補聴器を継続的にお使いください。補聴器を頻繁にお使いいただくことで、補聴器の効果を余すことなく実感いただくことができます。

注意

この取扱説明書に掲載されている補聴器、イヤセット、付属品の図は、お客様のものと異なる場合があります。また当社は、必要な変更を行う権利を有します。

各部の名称



- 1.マイク入音口
- 2.プッシュボタン
- 3.ベント（オプション）
- 4.取り外し用テグス（オプション）

- 5.音口部
- 6.ワックスガード
- 7.ベント（オプション）
- 8.製品情報と左右識別マーク

補聴器の製品情報には左右が明記されています。「R」 = 右耳。「L」 = 左耳。また、補聴器は識別しやすいように色分けされています。左耳の補聴器には青い印、右耳の補聴器には赤い印が付いています。ただし、この色分けは黒色の補聴器には適用されません。

プッシュボタン

短く押す

長く押す

特に長く押す

プログラムの変更
プログラムを変更するには、
聴器のボタンを押します

デフォルト設定
なし。販売店と相談の上、プロ
グラム設定できます

スイッチのオン/オフ
補聴器のボタンを（一度に1つずつ）数秒間長押しすると、補聴器の電源を入れたり切ったりできます。

使用条件

ご使用にあたって

この補聴器は、聴力障害の重症度が最低（10 dB HL）から高度（95 dB HL）の範囲にある生後 36 カ月以上の方、およびすべての難聴の方に適しています。

これらは、聴力リハビリテーション施設において訓練を受けた資格を持つ聴覚ケア専門家（聴覚士、補聴器専門家、耳鼻咽喉科医）により処方される必要があります。

充電池付き補聴器

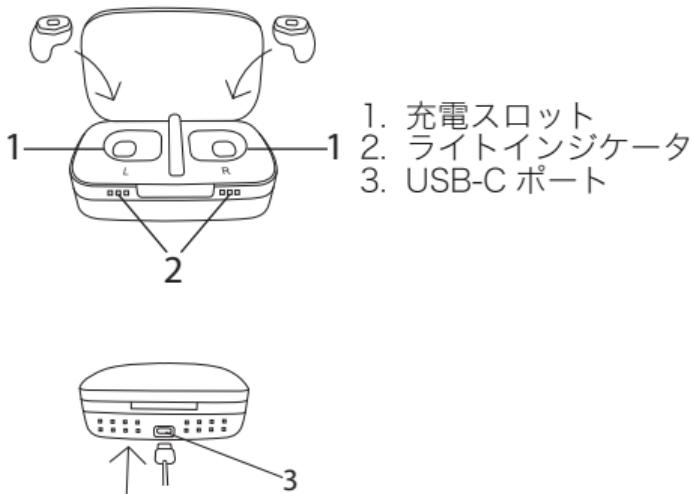
充電池付き補聴器は、36 ヶ月未満のお子様または知的障害のある方は使用できません。

意図する目的/意図する使用

補聴器は、聴覚障害者の聴力を改善することを目的としています。補聴器の診断と処方は、音響技師、聴覚士、耳鼻咽喉科医などの聴覚の専門家が行う必要があります。

充電

毎日補聴器を充電することをお勧めします。以下の図は、充電器 WPT50x を表しています。



注意

補聴器は充電中に熱くなることがあります

充電技術の性質上、低レベルの熱が放出され、これにより充電器と機器の温度が上昇します。

補聴器が触ると熱すぎる場合は、冷めるまで待ってから耳に装着してください。

以下の点に留意してお取り扱いください。

- 充電中はカバーを開けたままにします。
- 充電器は熱源や直射日光を避けて保管してください。

補聴器の充電方法に関する詳細は、充電器の取扱説明書を参照してください。

使用時間と充電時間

補聴器を完全に充電するには約 4.5 時間かかります。

補聴器を完全に充電した状態から、通常の聴き取り環境であれば、次回充電するまで最大 17 時間使用できます。

4.5 時間



17 時間



電池残量低下のアラートが鳴った場合、残りの使用可能時間は長くても 3~4 時間です。早めに充電してください。
電池残量がほとんどなくなると、補聴器の電源が切れます。

難聴の程度、使用環境、ストリーミングによる音声伝送は、使用可能時間に影響する要因となります。例えば、伝送サービスを使用すると、補聴器の使用可能時間は短くなります。

動作と充電の条件

この補聴器は、日常生活での使用を意図しており、通常の生活環境で機能します。機内での使用は可能ですが、入浴時（シャワーを含む）や水泳を行う場合および睡眠中は必ず外してください。

動作条件

	最低	最高
温度	0 ° C (32 ° F)	50 ° C (122 ° F)
相対湿度	5%	93%
気圧	700 mbar	1060 mbar

充電条件

	最低	最高
温度	10 ° C (50 ° F)	35 ° C (95 ° F)
相対湿度	20%	75%

使用せず長期保管する場合

長期間補聴器を使用しない場合は、補聴器を完全に充電してから、付属のケースに入れて保管してください。保管前に必ず補聴器の電源を切ってください。

回復不能な電池の過放電を防ぐため、補聴器は必ず6ヶ月ごとに充電してください。過放電した充電池を再度充電することはできません。交換が必要となりますので販売店にご相談ください。当社は、6ヶ月に1回以上の頻度で充電することを推奨しています。

保管と輸送条件

この補聴器は、高温など過酷な条件の影響を受けやすい製品です。必ず直射日光の当たらない、以下の条件を満たした場所でのみ保管、輸送してください。

保管条件

	最低	最高
温度	10° C (50° F)	40° C (104° F)*
相対湿度	10%	80%**

* 推奨温度は10° C～25° Cです。

** 推奨相対湿度は20～80%です

輸送条件

	最低	最高
温度	-20 ° C (-4 ° F)	60 ° C (140 ° F)
相対湿度	5%	90%
気圧	700 mbar	1060 mbar

この補聴器の技術データシートは
www.widexpro.com/documents を、追加情報は
www.widex.com をご覧ください。

使用方法

補聴器電源のオン/オフ

補聴器の電源のオン/オフを行う方法は2つあります。

充電器の使用方法：

オン： 補聴器を充電器から取り外すと、自動的に補聴器の電源が入ります。

オフ： 補聴器を充電器にセットすると、補聴器の電源が切れ、充電が開始されます。

ボタンを使用する方法：

オン： ボタンを5秒間長押しします。

オフ： ボタンを5秒間長押しします。

補聴器の装着と取り外し

補聴器の装着



親指と人差し指で補聴器をしっかりと持ち、抵抗を感じるまで耳にゆっくりと挿入します。

軽くひねって、しっかりと収まるようにします。

耳の中で安定するまで、補聴器を人差し指の先で静かに押し込みます。

挿入時に外耳を後方、上方向に引っ張ると装用しやすくなります。

外耳道に空気が溜まらないように、口を開けたり閉じたりしてください。

補聴器の取り外し



耳の後ろを軽く押して補聴器が自由に動くようにします。
親指と人差し指で補聴器を持ち、慎重に引き抜くか、付属の取外し用テグスがある場合はそれを使用して補聴器を耳から取り出します。

注意

取り出しにくい時は、慎重に補聴器を左右に動かして引き出してください。

注意

使用後は補聴器を清掃し、乾かしてください。

カスタマイズ プログラム

この表には、選択できる各プログラムの概要がまとめられています。詳細については販売店にお尋ねください。

プログラム	用途
万能	あらゆる状況で最適な聞こえを提供することを重視した自動プログラム
PureSound	あらゆる状況で自然な聞きやすい音を提供することを重視した自動プログラム
ミュージック	音楽を聴くためのプログラム
TV Play	テレビの音声を聞くために設計されたプログラム。Widex TV PLAY 2に補聴器をペアリングすると、TV プログラムが自動的に作成されます。

リストに記載されているプログラム名は既定のものです。販売店では、あらかじめ選択されたリストにあるプログラム名を選択することもできます。この機能では、それぞれの状況に合ったプログラムをより簡単に選択できます。

お客様の聴力に応じ、販売店がオーディビリティエクステンダーの機能を有効にします。この機能でメリットが得られるかどうかについては販売店にお尋ねください。

後にお客様の必要性やお好みが変化した際、販売店はプログラムの選択を簡単に変更することができます。

音とプログラムの調整

ALLURE アプリ

ALLURE アプリを使用して、スマートフォンを ALLURE 補聴器と接続すると、音声を伝送したり補聴器の機能をコントロールしたりできます。例えば、補聴器の聞こえのカスタマイズ、プログラムの変更、音量の調整、ミュートの切り替えなどの操作を行うことができます。

互換性のあるスマートフォンの一覧については、以下をご覧ください。

www.widex.com/support/compatibility/

リモコン

リモコンをお使いの場合、お客様の必要性やお好みに応じて快適に聞こえるよう、あるいはより聞き取りやすくするよう、手動でプログラムを変更したり、音量を調節することができます。この機能の詳細については、販売店にご相談ください。

お使いの補聴器とスマートフォンのペアリング

補聴器とスマートフォンの Bluetooth によるペアリング

補聴器とスマートフォンをペアリングするには、補聴器を再起動する必要があります。以下の手順にしたがってください。

1. 補聴器を再起動します。
2. 補聴器をスマートフォンの近くに置き、ALLURE アプリの指示にしたがってください。
3. これで補聴器とスマートフォンを使用できます。

注意

補聴器は、再起動後 3 分間のみペアリングモードになります。この間にペアリングしなかった場合は、もう一度補聴器を再起動する必要があります。

補聴器へのアプリの接続

(設定メニューで) 補聴器とスマートフォンのペアリングを行った後、ALLURE アプリを開くとアプリが自動的に補聴器に接続されます。

iPhone との音信号の伝送

お使いの補聴器は「Made for iPhone」の補聴器です。つまり、補聴器で iPhone の電話に出たり、音楽を聴いたりすることができます。さらに、対応する iPhone や iPad では補聴器を使用してハンズフリー通話ができます。

対応する iOS 機器、ペアリング、音信号の伝送、その他の便利な機能の詳細については、販売店にお問い合わせください。

Android スマートフォンと補聴器を使用する方法

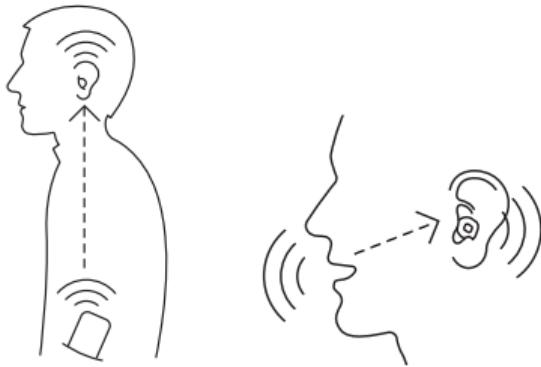


補聴器と Android スマートフォンが Bluetooth でペアリングされている場合、通話中に補聴器に直接音声データが送信されます。

通話中、顔の正面で Android スマートフォンを持ち、スマートフォンのマイクを口に近づけるようにします。これが最高の音質で通話を行う方法です。

iPhone の通話で補聴器を双方向ヘッドセットとして使用する方法

補聴器と iPhone が Bluetooth でペアリングされれば、通話中に音声データを送受信することができます。iPhone から補聴器に直接音声データが送られます。補聴器がお客様の声を拾って iPhone に送り返します。これにより、外出先でもハンズフリー通話を楽しめます。



iPhoneとペアリングすると、補聴器は自動的に双方向ヘッドセットとして機能します。スマートフォンに向かって話さなくても通話をを行うことができます。

補聴器を使用することで、スマートフォンを直接操作することなく電話に出たり、通話が終わると終了したりすることができます。この機能を使用するには、次の手順を実行します。

1. 補聴器のプッシュボタンを押すと、かかってきた電話に出ることができます。
 2. 補聴器のプッシュボタンを押して通話を終了します。
- また、ALLURE アプリを直接使って、電話に出たり通話を終了したりすることもできます。

アプリの機能については、ALLURE アプリのマニュアルを参照してください。

Bluetooth 接続を切断する方法

ALLURE アプリの「詳細」メニューから「補聴器の設定」を選択し、「Bluetooth をオフにする」をタップします。補聴器を再起動すると、Bluetooth に再び接続されます。

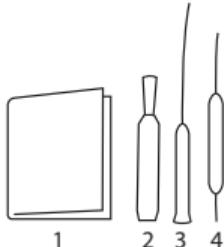
スマートフォンとの互換性

互換性のあるスマートフォン、タブレット端末等の一覧はこのウェブサイトに掲載されています：

www.widex.com/support/compatibility/

お手入れ 用具

補聴器には以下の清掃用具が同梱されています。



1. クリーニングクロス
2. イヤセット用のブラシ
3. イヤセット用の耳垢除去用具
(長)
4. イヤセット用の耳垢除去用具
(短)

補聴器のお手入れ方法

補聴器の性能を維持し、快適に装用するため、耳垢や汚れを取り除いて常にきれいな状態にしてください。



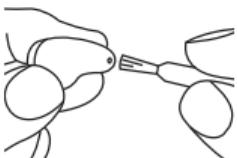
やわらかく乾いた布で補聴器を拭いてください。

マイク入音口が詰まっている場合は、販売店にご相談ください。

マイク入音口の汚れに気づいたら、そっと息を吹きかけて吹き飛ばすか、やわらかい布で拭き取ってください。

補聴器が濡れたり、汗を多くかいたりした場合は、補聴器を直ちに乾燥させてください。

音口部



小さいブラシまたはクリーニングクロスを使い、音口部の周りにある目に見える耳垢を除去してください。ワックスガードは絶対にお手入れしないでください。

注意

音口部のお手入れが難しい場合は、販売店にご相談ください。音口部には絶対に物を挿入しないでください。音口部に物を挿入すると補聴器が破損する場合があります。

ペント

ペント付き補聴器：

長い耳垢除去用具（3番）をペントの一番奥まで通し、毎日お手入れしてください。

注意

補聴器の性能を維持するためには、常にペントを耳垢や汚れなどがないきれいな状態に保つことが重要です。毎日使用後にお手入れし、ペントが詰まった場合は販売店に相談してください。

補聴器が濡れたり、汗を多くかいたりした場合は、補聴器を直ちに乾燥させてください。補聴器を常に乾燥させ清潔に保つために、Widex PerfectDry Luxなどの専用の乾燥機を使用することもできます。詳しくは、販売店にご相談ください。



補聴器のお手入れには液体や殺菌剤を使用しないでください。



毎日使用後に補聴器をお手入れし、破損していないことを確認してください。補聴器が装用中に破損し、外耳道に小さい破片が残った場合には医師にご相談ください。絶対に自分で破片を取り出さないでください。

マイクフィルターの交換



マイクフィルターは、補聴器のマイクを汚れと耳垢から保護します。

マイクフィルターの交換が必要な場合は、専門家に依頼してください。

マイクフィルターの交換頻度については、販売店にご相談ください。



フィルターは使い捨てで、清掃して再使用することはできません。

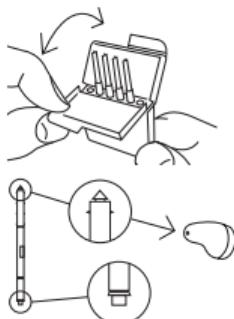


フィルターの取付けがゆるい場合は、それを破棄して新しいフィルターを使用してください。

ワックスガード

ワックスガードは、耳垢や汚れの侵入を防ぎ、補聴器を保護するための部品です。必ずワイデックス指定のワックスガードを使用してください。

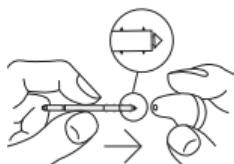
ワックスガードの交換



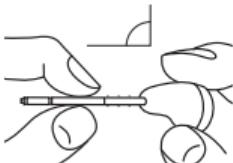
図のように、ケースを開きます。

ワックスガードは以下の部品で構成されています：

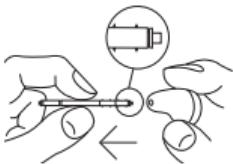
1. 取り外しフック
2. 新しいワックスガード



取り外しフックを音口に取付けられているワックスガードに挿入します。



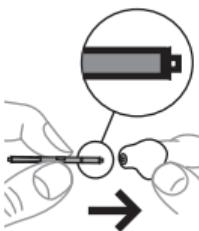
図のよう、ホルダーを直角に保ちます。

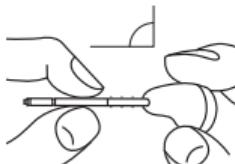


そのまままっすぐ使用済みワックスガードを引き抜きます。



音口の開口部に新しいワックスガードを挿入し、そっと押し付けます。





ホルダーをまっすぐ引き抜きます。



ワックスガードの交換頻度については、販売店にご相談ください。

! ワックスガードは使い捨てで、清掃して再使用することはできません。

! ワックスガードの取付けがゆるい場合は破棄し、新しいワックスガードを使用してください。

! ワックスガードが補聴器の使用中に耳の内側で外れた場合は、取り除くために医師または販売店にご相談ください。ご自身でワックスガードを取り除こうとしないでください。

アクセサリー

別売りの補聴器用のアクセサリーを使用できます。
各種アクセサリーを使用するメリットがあるかどうかについて、販売店にご相談ください。

名称	用途
RC-DEX	リモコン
TV PLAY 2	テレビ音声の直接伝送用
WPT50x	ACRD1 補聴器の充電器
ALLURE アプリ	スマートフォン経由で補聴器をコントロールするためのアプリ

トラブルシューティング

補聴器が動かない場合や期待通りに機能しない場合は、この項に記載されている情報を参照してください。問題が解決しない場合は販売店にご相談ください。

問題	考えられる原因	解決策
補聴器から音が聞こえない	補聴器の電源が入っていない	補聴器の電源が入っていることを確認してください。補聴器は手動で電源を入れることができます（手順を参照してください）。
	補聴器が充電されていない	補聴器を充電器で充電してください
	音口部が詰まっている	お手入れの項を参照してください
	マイクの入音口が詰まっている	お手入れの項を参照してください
補聴器の音が小さく感じる	音口部が詰まっている	お手入れの項を参照してください

問題

考えられる原因 解決策

外耳道に耳垢 が詰まっている	医師にご相談ください
聴力が変化した	販売店/医師にご相談 ください
ピーッというハウ リング音が常に聞 こえる	耳に耳垢が詰 まっている
補聴器が外耳 道に正しく挿 入されていな い	一度取り外し、装着し 直してください
補聴器が緩い	販売店にご相談ください
補聴器の装用感が よくない	補聴器が外耳 道に正しく挿 入されていな い。
補聴器が耳の 形に合ってい ない	販売店にご相談ください

問題

考えられる原 因

外耳または外 耳道が痛い	初めて使用する場合、 最初は補聴器を短時間 のみ使用することが重 要です。2~3週間か けて補聴器に徐々に慣 れるようにしてください。 問題が解決しない 場合は聴覚専門医にご 相談ください
補聴器が両耳同時 に動作しない	補聴器間の通 信が途絶えた
アクセサリーで音 量調節やリスニン グプログラムの切 り替えをしても補 聴器が反応しない	アクセサリーが通信圏外で 使用されてい る
近くに強い電 磁干渉がある	電波干渉する機器から 離れてください
アクセサリーと補 聴器がマ ッチングされ ていない	アクセサリーが補聴器 と正しくマッチングさ れているか、販売店に ご確認ください。

問題

**考えられる原
因**

使用時に音が途切
れる、または片方の
補聴器からの音が
聞こえない。

近くに強い電
磁干渉がある

既知の干渉源から離れ
てください

安全に関する重要な情報

補聴器の使用を開始する前に以下のページをよくお読みください。



警告

負傷、火災、爆発の危険！

パワーセル（リチウムイオン充電式電池）は補聴器に恒久的に内蔵されています。

- 補聴器を誤って使用すると、パワーセルが破裂する可能性があります。



警告

- 使用条件を確認してください。

- 極端な高温（火、電子レンジ、IH 調理器、他の高誘導磁場）や直射日光から本機を保護するために、特に注意してください。

- 補聴器は、承認された充電器のみで充電してください。サポートについては販売店にお問い合わせください。

- 本機を分解しないでください。

- 爆発性環境では本機を使用しないでください。

- 変形していたり、明らかに破損している機器は使用しないでください。

- 充電後の性能が著しく低下している場合は本機を使用しないでください。販売店に本機を返却してください。

- 火や水の中に本機を廃棄しないでください。



重要

交換や修理は必ず専門家に依頼してください。以下に留意してください。

- 充電後の性能が著しく低下している場合は補聴器を使用しないでください。
- リチウムイオン充電式電池の修理や交換はご自身で行わないでください。
- 万が一、リチウムイオン充電式電池が破裂または爆発した場合は、可燃物を近づけないでください。
上記のいずれかのケースに該当する場合は、販売店に機器を返却してください。



警告

負傷、火災、爆発の危険！

リチウムイオン充電池と補聴器は、地域の規則に従って輸送してください。



警告

接触アレルギーがあることが分かっている場合は、補聴器の使用を開始する前に、補聴器の製造元に潜在的なアレルゲンについてお問い合わせください。補聴器の使用によりアレルギー反応が現れた場合は、使用を中止し、医師に相談してください。



警告

窒息および中毒の危険

補聴器と電池は小さく、飲み込める大きさです。補聴器の電池や部品を飲み込むと、健康に害を及ぼす恐れがあり、重傷や致命傷を引き起こす可能性があります。

補聴器の電池や部品の誤飲リスクを最小限に抑えるため、以下の予防策を講じてください。

- 補聴器、電池、付属品は、お子様、ペット、知的障がいのある方の手の届かないところに保管してください。

- 部品を飲み込んだ場合は、直ちに医師または病院で診てもらってください。

- 補聴器や電池を使用しないときは、安全な場所に保管してください。

- 補聴器や電池は、錠剤や飴のような食べられるものと間違われる可能性のある場所に保管しないでください。

補聴器の電池や部品を飲み込んだ場合は、直ちに医師の診察を受けてください。



重要

使用者の残存聴力を損なう危険性があります。

ニーズに合わせて調整された補聴器のみを使用してください。



警告

爆発の危険！

爆発性環境（採掘場など）では補聴器を使用しないでください。



警告 負傷の危険！

明らかに損傷した機器は使用または修理しないでください。販売店に返却してください。



警告 小さな部品による窒息の危険！

この補聴器は、乳幼児、3歳未満の小児、知的障がいを有する方の装用を意図したものではありません。



警告

使用者の残存聴力を損なう危険性があります。

出力音圧レベルが 132 dB SPL 以上の補聴器の場合。

- 本機を装用するときは、特に注意してください。



警告

お使いにならない時は補聴器を取り外してください。取り外しておくことにより、外耳道が換気され、耳の感染症の防止につながります。



警告

補聴器で音声伝送を大音量にしていると、アラームや交通騒音などの他の重要な音が聞こえなくなる場合があります。この場合、転送音声の音量を適切なレベルに調整してください。



警告

電子機器に影響を与える危険！

電子機器やワイヤレス機器の使用が制限されている場所では、機器の電源を切る必要があるかどうか確認してください。



警告

本製品を無許可で変更すると、製品が破損したり、怪我をしたりする恐れがあります。

- 承認された部品と付属品のみを使用してください。サポートについては販売店にお問い合わせください。

- メーカーの許可なく本製品を改造しないでください。

- 本機を改造する場合は、製品を安全に使用するために適切な検査と試験を実施する必要があります。



警告

補聴器使用予定者が以下のいずれかの状態に該当すると補聴器相談医が判断した場合は、補聴器を使用する前に認定医に相談するよう助言する必要があります。

- 目に見える耳の先天的奇形または外傷性変形
- 過去 90 日以内の耳からの排膿の既往歴
- 過去 90 日以内の突発性または急速進行性難聴の既往歴
- 急性または慢性の目まい
- 過去 90 日以内の突発性または最近発症した一側性難聴
- 500 ヘルツ (Hz)、1,000Hz、2,000Hz において、聴力測定における気導骨導差が 15 デシベル以上
- 外耳道に著しい耳垢の蓄積または異物の目に見えるエンビデンス
- 耳の痛みまたは不快感（例えば、最近または現在の耳の感染症によるもの）



警告

皮膚炎、耳垢の過剰な蓄積、めまい、聴力の変化など通常とは異なる副作用が発生した場合、または外耳道に何かが詰まっていると思われる場合は、販売店にご相談ください。



警告

電池はお子様の手の届かない場所に保管してください。

- コイン型電池を飲み込んだり体内に挿入したりすると、2時間以内に重傷または致命傷を引き起こす可能性があります。
- お子様が電池を飲み込んだり、体内に挿入した疑いがある場合は、直ちに地域の中情情報センターに電話してください。
- 機器を点検し、電池ホルダーが正しく固定されていること、およびネジやその他の機械的固定具が締められていることを確認してください。電池ホルダーが固定されていない機器は使用しないでください。
- 使用済みの電池は直ちに安全に廃棄してください。使用済みおよび放電された電池も同様に危険です。
- 電池に関連する危険と、子供を危険から遠ざける方法について他の人に知らせてください。



注意

補聴器を使用しないときは、補聴器ケースまたは充電ケース（該当する場合）またはその他の適切な保管容器に入れ、お子様の手の届かない場所に保管してください。



注意

CT や MRI などの検査を受ける際には、事前に補聴器を外してください。補聴器から大きな音が生じたり、補聴器を破損することがあります。IH 調理器など電磁波を発生する機器の影響で、雑音や歪みを生じことがあります。

注意

- 極端な高温から補聴器を保護してください。直射日光の当たる場所には保管しないでください。
- 高湿度から補聴器を保護してください。シャワー中や、メイク、香水、アフターシェーブ、ヘアスプレー、日焼け止めを塗るときには装用しないでください。
- 電子レンジで補聴器を乾かさないでください。
- X線検査、MRI検査、稼働していないMRIやCTスキャンの近くなど、さまざまな種類の強い放射線は、補聴器に損傷を与える可能性があります。電気外科手術（ジアテルミー、電気メス、高周波手術）のような処置中は、補聴器を装用しないでください。
- 補聴器は電磁両立性に関する国際規格に適合するように設計されていますが、IH調理器、電磁セキュリティシステム、盗難防止システム、金属探知機、携帯電話、RFID、監視システムなど、近くの電子機器からの干渉が発生する可能性があります。そのような場合は、干渉源から離れてください。

そのような機器の近くで雑音が発生する場合は、補聴器と雑音発生源との距離を離してください。

- 補聴器、アクセサリー、梱包材は、地域の規則に従ってリサイクルしてください。
- 環境汚染を避けるため、電池を家庭ゴミとして捨てないでください。国の規則に従って電池をリサイクルまたは廃棄するか、機器を販売店に返却してください。
- 重大な事故が発生した場合は、その発生を機器の製造元およびユーザーや患者が居住する管轄当局に報告してください。

規制情報

EU 指令

指令 2014/53/EU

ここに、WSAUD A/S は、このACRD1 モデルが、指令 2014/53/EU の基本要件およびその他の関連規定に準拠していることを宣言します。

ACRD1 には、以下の条件で動作する無線送信機が搭載されています。10.6 MHz、-54 dB μ A/m @10 m、2.4 GHz、0.9 mW EIRP。

2014/53/EU に準拠した 2014/53/EU 以下に掲載されています。

www.widex.com/doc

無線性能が低下する可能性を防ぐため、必ず補聴器を他の無線通信機器から 25cm (10 インチ) 以上離してください。



R

202-JMV043

廃棄に関する情報

補聴器やアクセサリ、電池を通常の家庭ごみと一緒に捨てないでください。

補聴器やアクセサリ、電池は、地区の定める電気・電化製品の処分方法に従って処分するか、購入元に安全な処分を依頼してください。

FCC/ISED 適合宣言

FCC ID : 2AXDT-RFM016 が含まれます

IC : 26428-RFM016

HVIN : RFM016

Federal Communications Commission Statement

This device complies with part 15 of the FCC Rules.
Operation is subject to the following two conditions:

- (1) This device may not cause harmful interference,
and
- (2) this device must accept any interference received,
including interference that may cause undesired
operation.

NOTE:

This equipment has been tested and found to comply
with the limits for a Class B digital device, pursuant to
part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to

provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation.

If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

NOTE:

This equipment complies with FCC radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment. This transmitter must not be co-located or operating in conjunction with any other antenna or transmitter.

Changes or modifications to the equipment not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

ISED Statement / Déclaration d'ISED

This device contains licence-exempt transmitter(s)/ receiver(s) that comply with Innovation, Science and Economic Development Canada's licence-exempt RSS(s). Operation is subject to the following two conditions:

- (1) This device may not cause interference.
- (2) This device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

L'émetteur/récepteur exempt de licence contenu dans le présent appareil est conforme aux CNR d'Innovation, Sciences et Développement économique Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes:

- (1) L'appareil ne doit pas produire de brouillage;
- (2) L'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

ISED RADIATION EXPOSURE STATEMENT:

This equipment complies with ISED RF radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment. This transmitter must not be co-located or operating in conjunction with any other antenna or transmitter.

To comply with ISED RF exposure requirements, the device must be operated at a minimum distance of 20 cm or more from a person's body.

ISED EXPOSITION AUX RADIATIONS:

Cet équipement est conforme aux limites d'exposition aux rayonnements ISED établies pour un environnement non contrôlé. Cet émetteur ne doit pas être situé au même endroit ou fonctionner en conjonction avec une autre antenne ou un autre transmetteur.

Pour se conformer aux exigences d'exposition aux radiofréquences d'ISED, l'appareil doit être utilisé à une distance minimale de 20 cm ou plus du corps d'une personne.

記号

WIDEX が製造販売する医療機器の表示に共通して使用される記号（ラベル/IFU/その他）。

記号 タイトル/説明



製造元

製品は、名称および住所が記号の横に記載されたメーカーにより製造されています。該当する場合、製造日が記載されていることもあります。



カタログ番号

製品のカタログ（品目）番号。



取扱説明書を参照

取扱説明書には安全に関する重要なお知らせ（警告/注意）が記載されていますので、製品のご使用前に必ずお読みください。



輸送中および保管中は乾燥した状態を保ってください。



梱包材はリサイクルできます。



製造日の記号。



シリアル番号の記号

記号	タイトル/説明
	警告 警告記号を伴う事項は、製品のご使用前に必ずお読みください。
	WEEE マーク 「一般廃棄物ではありません」 製品の廃棄については、危険物質による環境や人の健康を害するリスクを防ぐため、指定されたリサイクル・回収場所に廃棄してください。
	CE マーク 製品は、CE マークに関する欧州指令によって定められた要件に適合しています。
	RCM マーク 製品は、オーストラリアとニュージーランド市場に供給される製品に対する電気安全性、EMC、無線スペクトル規制要件に準拠しています。
	医療機器 本機器が医療機器であることを示します。
	技術基準適合証明マーク この製品は日本の技術基準適合証明を受けたものです

ライセンスと確認書

オープンソースに関する確認書

本機は、サードパーティのオープンソースソフトウェアリソースを利用しています。以下に、オープンソースのリソースとライセンスの全文を示します。

scmRTOS

Copyright (c) 2003-2015, scmRTOS Team

scmrtos/LICENSE at master · scmrtos/scmrtos · GitHub

Licensed under the MIT license

cJSON

Copyright (c) 2009-2017, Dave Gamble and cJSON contributors

cJSON/LICENSE at master · cJSON/cJSON · GitHub

Licensed under the MIT license

MIT license

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell

copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

W S オーディオロジージャパン株式会社
製造販売元 W S オーディオロジージャパン株式会社
〒242-0007 神奈川県大和市中央林間7-10-1
三機大和ビル6F
TEL 0120-332-604 FAX 0120-332-394
許可番号 14B2X00018 管理医療機器



WSAUD A/S

Nymoellevej 6, DK-3540 Lynge, Denmark
www.widex.com



0123

取扱説明書番号:

9 514 1188 016 01

発行:

2025-11



9 514 118 801608